

# 大伴小だより 9月号



富田林市立大伴小学校 校長 釜坂 佳成

富田林市南大伴町一丁目2番20号

0721-24-3104

## 夏休みが終わってしまったあ～ (T\_T)/～～

あんなに待ち遠しかった夏休み……。長いはずだった夏休みが、あっという間に終わってしまいました。「はあ、朝起きるのシンドいなあ」とか「遊べる時間減るなあ」とかいろんなマイナスの気持ちにとらわれている人が多いかとおもいます。

略

さて、私の好きな詩人に“相田みつを”さんというかたがいます。短いけれども含みのある詩作品をいろいろ遺されています。『にんげんだもの』という詩集が有名で、「つまづいたっていいじゃないか にんげんだもの」という書は見聞きした人もいるかもしれませんね。その彼の作品の中に、左の書があります。

私たちが人は、いつの時代も“幸せ”を求めて生きてきました。それは今も変わりません。幸せになるためにはどうしたらいいか？好きなものを好きなだけ食べられること？健康に暮らせること？いろいろな答えをそれぞれ追い求め続けているのです。でも、いい服を着て、大きな家に住んで、お金もいっぱいあるのに、あまり幸せそうに見えない人もいます。愚痴や不満不平ばかり言っている人がいます。不思議ですねえ。周りから見たら羨ましいくらいなのにねえ。そこで、相田さんの言葉がヒントとなります。“幸せ”とはモノとかおカネとか、周りの環境や状況で決まるものではないんですよ、自分自身が今おかれている環境や状況をどうとらえるかによって決まるものなんですよ、と言っているように思います。

なんだか難しい話になってしまいました……。今回、私が皆さんに伝えたいのは、夏休みが終わったことに対して、「ああ～、しょもないなあ～」とイヤな面だけを考えて過ごすのか、「けどまあ、友だちにも先生にも会えるしなっ」とプラスにとらえるのかによって、私たちの“幸せ”感は大きく違ってくる、ということです。さあ、みんな！笑顔を忘れずに、明るく楽しく元気よく、“幸せ”に2学期を過ごしましょう！！